



# どんぐり通信

春です！

桜が咲き、新生活がはじまる季節ですね。

この季節にぴったりの甘酸っぱい青春ストーリー2 作品を紹介します。



『サクラ咲く』辻村深月／著 光文社文庫

中学生になった主人公は、ある日図書館で本をめくっていると一枚の便せんが落ちたてきたことに気づいた。そこには『サクラチル』という文字が。一体誰がこれを？  
輝きに満ちた喜びや、声にならない叫びが織りなす青春のシーンをみずみずしく描いています。



『クラスメイツ 前期・後期』森絵都／著 偕成社

新中学1年生になった24人のクラスメイトのおはなし。  
1人1人を主人公にした24のストーリーで思春期の1年間を描いた連作短編集。前期・後期の全2巻。  
だれもが身にしみるリアルさを、シリアスなのに笑えて、コミカルなのにしみじみとしたユーモアでくるんだ作品集です。

